

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「沖縄シンカプロジェクト」事業
事業主体 (連絡先)	川上村シンカプロジェクト推進協議会 南佐久郡川上村大深山525
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,241,563円 (うち支援金: 993,000円)

事業内容

冬の気候が、20℃前後と川上村の夏の気候と似ている沖縄県恩納村と川上村は長い間自治体交流を続けてきた。

川上村は、夏は高原野菜の収穫で多忙を極めるが、冬は農閑期となり農業者が長い時間とレタス栽培の高い技術を持って余している。

この時間と技術を、多くの遊休農地を抱え若者農業者の定着を目指す恩納村で活用する取組(シンカプロジェクト)が平成27年度から始まっている。

川上村の若手農業者が持っている野菜栽培技術で恩納村遊休農地の活用など農業振興に協力する。

一方、沖縄県は国内屈指のリゾート地で多くの観光客が訪れていることから、恩納村の協力を得ながら、沖縄県内で川上村産の夏レタスのブランド化と消費拡大につなげる。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 川上村若手農業者が、農閑期の時間と野菜栽培技術を駆使し、恩納村遊休農地でレタス栽培に取組んだ。川上村と異なる野菜栽培に適さない土壌で品質の良いレタスを収穫し、農業技術の研鑽と恩納村農業者と交流を図った。
- ② 恩納村の子どもたちやその家族らがレタス苗の定植を行い、収穫したレタスを川上村の小中学生が学校給食で食べた事は、食育の推進と今後の交流事業の発展に寄与した。
- ③ 沖縄県内米軍基地の家族が参加し、野菜栽培試験圃場でレタス苗の定植作業を行った。国際交流事業の推進に寄与した。

今後の取り組み

・恩納村農家のレタス栽培技術の向上は着実に向上している。引き続きシンカプロジェクトの取組により、土壌改良や害鳥対策などを講じて、恩納村農業振興に協力するとともに、沖縄県内で夏の川上村産レタスのブランド化と消費拡大につなげる。

・シンカプロジェクトを通じて両村の子供たちの食育推進と交流事業の発展につなげる。

・沖縄県内米軍基地関係者を招待し、レタスの収穫体験の開催による国際的な友好交流への発展につなげる。



【コープ沖縄での販売展示状況】

【目標・ねらい】

- ① 川上村農業者の農閑期の時間創出とレタス栽培技術の研鑽、恩納村農家との交流
- ② 沖縄県内における川上村産レタスのブランド化と販路拡大
- ③ 沖縄県恩納村の遊休農地の解消と若者農業者の定着をはじめとする農業振興

※自己評価【 B 】

【理由】平成30年度は恩納村農家6戸がレタス栽培に取組んだものの野菜価格の低迷やレタスを食べる有害鳥の被害により大きな影響を受けた。しかし、取組み農家は前年よりも面積を拡大することが出来た。

・シンカプロジェクトの推進により、川上村中学校の修学旅行先が恩納村となった。これにより、対象中学生に講演を行い、シンカプロジェクトの取組み事例を紹介した。